



**Daigas**  
Group

# 2024年3月期 決算 プレゼンテーション資料

2024年5月8日

大阪ガス株式会社

証券コード 9532

決算サマリー	- 2	<b>II. 24.3期の対前年比較</b>	- 11
<b>I. 24.3期決算と25.3期見通しの概要</b>	- 3	• 24.3期決算の対前年比較	- 12-16
• 24.3期決算のポイント	- 4	<b>III. 24.3期決算の対1月30日公表見通し比較</b>	- 17
• 24.3期決算の対前年比較（経常利益）	- 5	• 24.3期決算の対1月30日公表見通し比較	- 18-22
• 24.3期決算の対1月30日公表見通し比較（経常利益）	- 6	<b>IV. 25.3期見通しの対前年比較</b>	- 23
• 25.3期見通しのポイント	- 7	• 25.3期見通しの対前年比較	- 24-28
• 25.3期見通しの対前年比較（経常利益）	- 8	<b>V. 補足情報</b>	- 29
• 成長投資実績と見通し	- 9	• 通期見通しに対する主な収支変動要因	- 30
• 中期経営計画2023の振り返り	- 10		

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています：下記のURLで、決算短信、統合報告書、ファクトブック、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。  
<https://www.daigasgroup.com/ir/>

「実績」に関する注意事項：当社及び一部の国内連結子会社は24.3期からグループ通算制度へ移行しております。

「見通し」に関する注意事項：このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略等が含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

25.3期見通しについては、2024年5月8日公表の自己株式の取得による影響を考慮しています。（ただし、「配当性向」、「一株当たり当期純利益」及び「一株当たり純資産」を除く。）

国内ガス販売量に関する注記：全て、基準熱量を45MJ/m<sup>3</sup>として、表記しています。名張近鉄ガス・新宮ガスは12月決算です。

# 決算サマリー

1	<p>中期経営計画最終年度となる24.3期は、<b>経常利益は増益</b>。<b>フリーポートLNG液化基地が運転再開</b>しLNG調達費用を抑えられたことや、<b>タイムラグによる増益</b>影響などに加えて、<b>海外エネルギー事業やLBS事業の利益貢献</b>も拡大した。 ROICは、中期経営計画2023の<b>目標5%程度を上回った</b>。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>24.3期経常利益</u> 2,265億円 対前年 +1,509億円 対見通し +565億円</li> <li>• <u>ROIC</u> 6.1%* *タイムラグ影響含む実績は7.0%</li> </ul>
2	<p><b>25.3期は、経常利益は減益</b>。 主に、タイムラグ差益の減少や、原料調達に伴う為替差益等の前年度の一時的な<b>増益の反動影響</b>によるもの。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>25.3期経常利益</u> 1,530億円 対前年 ▲735億円</li> </ul>
3	<p><b>24.3期配当</b>は、中期経営計画2023の配当方針に基づき3月7日公表の配当予想よりさらに<b>増配</b>。 (短期的利益変動要因を除き、配当性向 30%以上) <b>25.3期配当</b>は、中期経営計画2026で公表した配当方針に基づき<b>増配</b>。 (株主資本配当率DOE 3.0%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>24.3期配当</u> 82.5円/株* 対前年 +22.5円/株 対3/7公表予想 +10.0円/株 *20.3期50.0円/株から4期連続の増配</li> <li>• <u>25.3期配当</u> 95.0円/株 対前年 +12.5円/株</li> </ul>
4	<p><b>25.3期上期に自己株式の取得</b>を実施する。 中期経営計画2026で掲げた<b>ROE目標8%等を考慮し、自己資本の抑制により資本効率を改善</b>する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>取得価額上限</u> 200億円 期間 5月9日～9月30日</li> </ul>

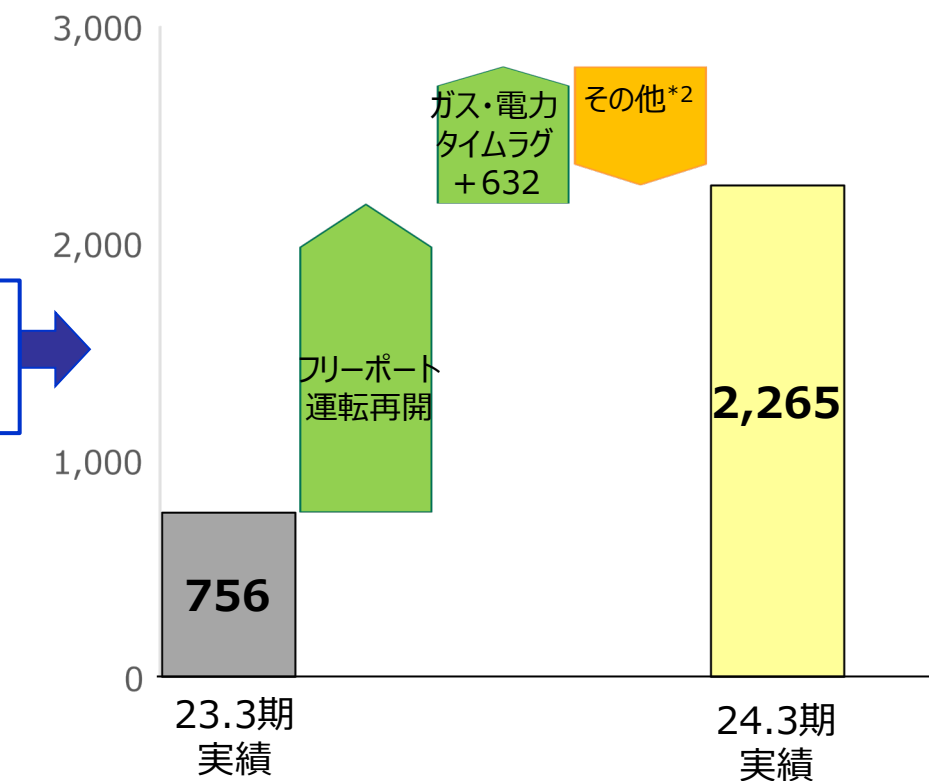
# I . 24.3期決算と25.3期見通しの概要

## 24.3期決算のポイント

- ✓ 売上高は、国内エネルギー事業において販売量が多い冬期にガス販売単価が低めに推移したことや、LNG販売価格が下落したことなどにより減収。
- ✓ 経常利益は、フリーポートLNG液化基地が運転再開しLNG調達費用を抑えられたことや、タイムラグによる増益影響などに加えて、海外エネルギー事業やLBS事業の利益貢献も拡大し増益。

### (億円) 経常利益 前年差(+1,509億円)の概要

(億円)	24.3期 実績	23.3期 実績	前年差
売上高	20,830	22,751	▲1,920
<b>経常利益</b>	<b>2,265</b>	756	<b>+1,509</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,326	571	+755
ROIC <sup>*1</sup>	7.0%	2.7%	+4.3%

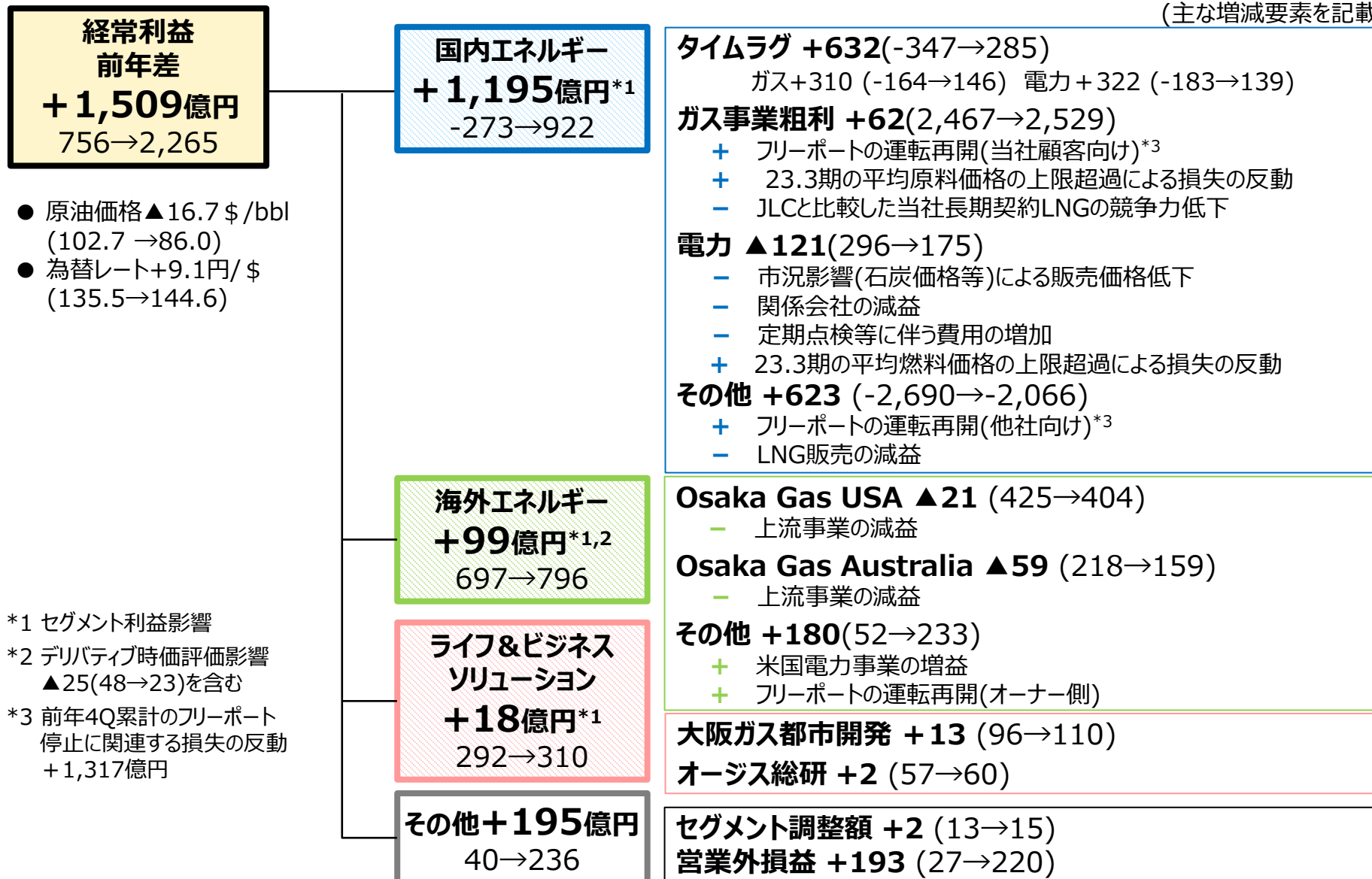


\*1 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本(期首期末平均)  
 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等  
 投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)

\*2 JLCと比較した当社長期契約LNGの競争力低下等、主に市況要因

# 24.3期決算の対前年比較(経常利益)

(主な増減要素を記載)

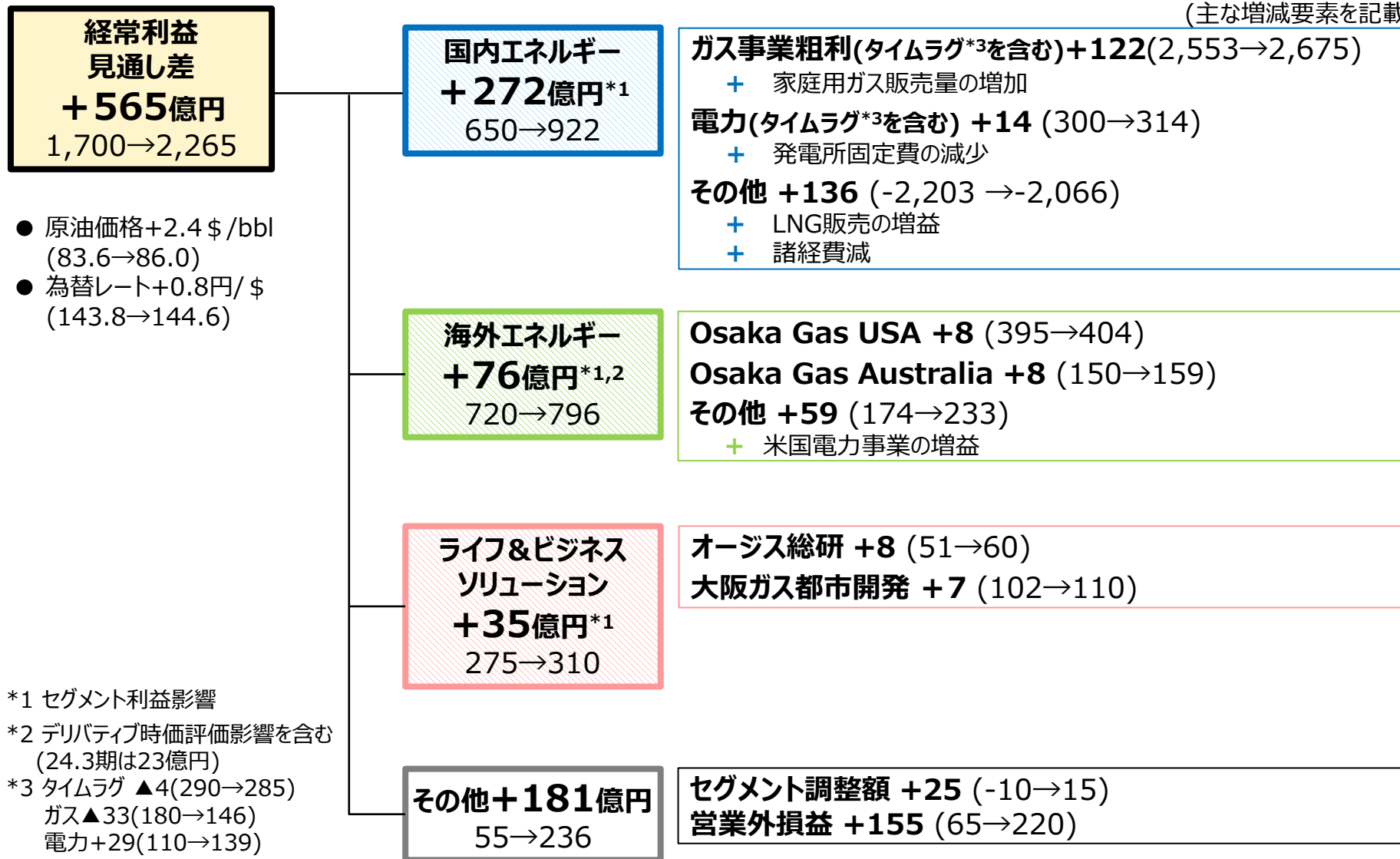


- 原油価格▲16.7 \$/bbl (102.7 →86.0)
- 為替レート+9.1円/\$ (135.5→144.6)

\*1 セグメント利益影響  
\*2 デリバティブ時価評価影響 ▲25(48→23)を含む  
\*3 前年4Q累計のフリーポート停止に関連する損失の反動 +1,317億円

# 24.3期決算の対1月30日公表見通し比較(経常利益)

(主な増減要素を記載)



- 原油価格+2.4 \$ / bbl (83.6→86.0)
- 為替レート+0.8円/ \$ (143.8→144.6)

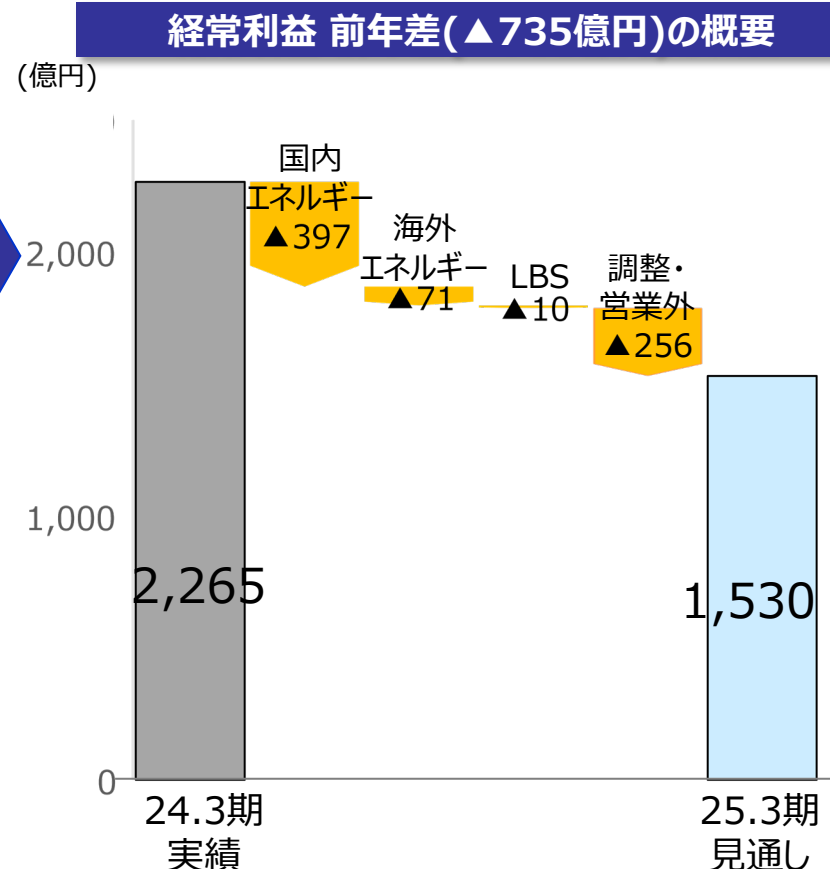
\*1 セグメント利益影響  
 \*2 デリバティブ時価評価影響を含む (24.3期は23億円)  
 \*3 タイムラグ ▲4(290→285) ガス▲33(180→146) 電力+29(110→139)

## 25.3期 見通しのポイント

- ✓ 売上高は、国内エネルギー事業におけるガス・LNG販売価格の下落等により、24.3期に比べて減収となる見通し。
- ✓ 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、タイムラグ差益の減少や、原料調達に伴う為替差益等の前年度の一時的な増益の反動等により、24.3期に比べて減益となる見通し。

(億円)	25.3期 見通し	24.3期 実績	前年差
売上高	<b>19,860</b>	20,830	▲970
<b>経常利益</b>	<b>1,530</b>	2,265	▲735
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>1,120</b>	1,326	▲206
ROIC <sup>*1</sup>	<b>4.7%</b>	7.0%	▲2.2%
自己資本比率 <sup>*2</sup>	<b>54.5%</b>	55.9%	▲1.3%
D/E比率(倍) <sup>*2</sup>	<b>0.58</b>	0.51	+0.07

- \*1 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本(期首期末平均)  
 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等  
 投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)
- \*2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整





# 25.3期 見通しの対前年比較(経常利益)

**経常利益  
前年差  
▲735億円**  
2,265→1,530

- 原油価格▲11.0\$/bbl (86.0→75.0)
- 為替レート +0.4円/\$ (144.6→145.0)

**国内エネルギー  
▲397億円\*1**  
922→525

**タイムラグ ▲165**(285→120)  
 ガス▲36(146→110) 電力▲129(139→10)  
**ガス事業粗利 ▲86** (2,529→2,443)  
 - JLCと比較した当社長期契約LNGの競争力低下  
**電力 +14**(175→190)  
 + 販売量の増加  
 - 需給調整市場の24.3期利益増反動  
**その他 ▲161** (-2,066→-2,228)  
 - LNG販売の減益  
 - 関係会社の減益

**海外エネルギー  
▲71億円\*1,2**  
796→725

**Osaka Gas USA ▲42** (404→362)  
 - 米国IPP案件売却益の反動  
**Osaka Gas Australia ▲23** (159→135)  
 - 上流事業の減益  
**その他 ▲5** (233→227)

**ライフ&ビジネス  
ソリューション  
▲10億円\*1**  
310→300

**オーガス総研 ▲12** (60→48)

**その他 ▲256億円**  
236→-20

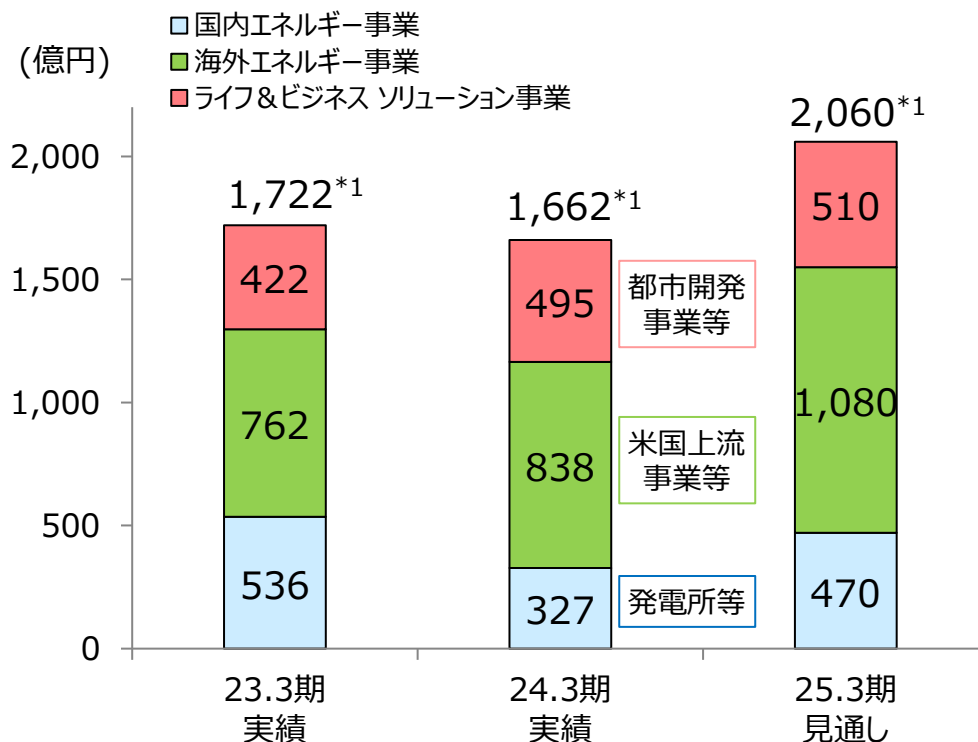
**セグメント調整額 ▲25** (15→-10)  
**営業外損益 ▲230** (220→-10)

\*1 セグメント利益影響  
 \*2 デリバティブ時価評価影響を含む  
 (24.3期は23億円)

# 成長投資実績と見通し

- ✓ 24.3期の成長投資額は、1,662億円。
- ✓ 財務健全性指標は、中期経営計画2023の「自己資本比率50%程度、D/E比率0.7程度」を確保。25.3期以降の目標は、中期経営計画2026で示した「自己資本比率45%以上、D/E比率0.8以下」。

## 成長投資



## 財務健全性指標

	23.3期 期末実績	24.3期 期末実績	25.3期 期末見通し
<b>自己資本比率</b>	52.5% (49.3%)	55.9% (52.9%)	54.5% (51.8%)
<b>D/E比率</b>	0.60 (0.71)	0.51 (0.59)	0.58 (0.66)

発行済ハイブリッド社債1,750億円の資本性50%を調整。括弧内の数値は調整前。

\*1 成長投資額には設備投資案件以外に出資・融資案件を含むため、設備投資額とは異なる

## 中期経営計画2023の振り返り

- ✓ 海外エネルギー事業において大きく利益成長を果たしたことに加え、国内エネルギー事業、LBS事業での着実な成長、さらに円安による為替差益等の市況による追い風もあり、最終年度である24.3期の経営指標は収益性指標、財務健全性指標ともに目標として掲げた水準を達成した。
- ✓ 配当は、毎期増配し、21.3期52.5円/株から24.3期は82.5円/株とした。

### 中期経営計画2023の経営指標

		24.3期目標	24.3期実績	増減
収益性指標	ROIC* <sup>1</sup>	5%程度	6.1%* <sup>1</sup>	+1.1%
	(参考)ROE	(7.5%程度)	(7.6%)	(+0.1%)
株主還元	配当性向* <sup>2</sup>	30%以上	30.4%* <sup>2</sup>	+0.4%
財務健全性指標	D/E比率* <sup>3</sup>	0.7程度	0.51	▲0.19
	自己資本比率* <sup>3</sup>	50%程度	55.9%	+5.9%

\*1 ROIC = (経常利益 - 支払・受取利息 - 法人税等) ÷ (有利子負債 + 自己資本)  
 有利子負債は、当社にリスクのないリース負債を除く  
 国内エネルギー事業における一時的な影響を除く  
 (ガス事業・電力事業のタイムラグ影響)  
 タイムラグ影響を含む24.3期実績は、ROIC7.0%、ROE8.9%

\*2 短期的な利益変動要因を除く  
 タイムラグ影響を含む24.3期実績は、25.7%  
 \*3 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

### 成長投資 22.3期～24.3期累計(億円)

中期経営計画2023	LBS	海外エネルギー	国内エネルギー	合計
	1,580	1,680	1,740	5,000
実績	1,366	2,042	1,389	4,798

### 24.3期の経常利益(億円)

中期経営計画2023	LBS	海外エネルギー	国内エネルギー	合計
				1,200程度
実績	310	796	922	2,265* <sup>4</sup>

\*4 各セグメント合計値に調整、営業外損益 236を加えた値

## Ⅱ. 24.3期決算の対前年比較

## 24.3期決算の対前年比較 - ①売上高、利益等

億円	A. 24.3期 実績	B. 23.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	20,830	22,751	-1,920	-8.4%	ガス販売単価低下 等
営業利益	1,725	600	+1,125	+187.6%	LNG調達等に伴う費用減 等
経常利益	2,265	756	+1,509	+199.5%	LNG調達等に伴う費用減 等
タイムラグ差損益 <sup>*1</sup>	285	-347	+632	-	
(個別)ガス事業	146	-164	+310	-	
(個別)電力事業	139	-183	+322	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,326	571	+755	+132.3%	LNG調達等に伴う費用減 等
一株あたり当期純利益(円)	320.6	137.4	+183.2	+133.3%	
EBITDA <sup>*2</sup>	3,281	1,927	+1,353	+70.2%	LNG調達等に伴う費用減 等
NOPAT <sup>*3</sup>	1,688	593	+1,095	+184.5%	LNG調達等に伴う費用減 等

\*1 国内エネルギーの内数

\*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (のれん償却費含む) + 持分法投資損益

\*3 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 24.3期 実績	B. 23.3期 実績	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	86.0	102.7	-16.7	24.3期実績は3月速報値までの平均
為替(円/\$)	144.6	135.5	+9.1	

## 24.3期決算の対前年比較 - ②資産等

億円	A. 24.3期 期末実績	B. 23.3期 期末実績	A-B	備考
総資産	29,801	28,195	+1,605	
自己資本	15,775	13,914	+1,860	
一株当たり純資産(円)	3,857.5	3,347.3	+510.2	
株主資本	12,463	11,592	+870	
有利子負債	9,382	9,815	-432	
ハイブリッド社債	1,750	1,750	±0	

	A. 24.3期 実績	B. 23.3期 実績	A-B	備考
ROIC <sup>*1</sup>	7.0%	2.7%	+4.3%	LNG調達等に伴う費用減 等
ROE	8.9%	4.3%	+4.6%	LNG調達等に伴う費用減 等

\*1 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本 (期首期末平均)

NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)

	A. 24.3期 期末実績	B. 23.3期 期末実績	A-B	備考
自己資本比率	52.9%	49.3%	+3.6%	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*2</sup>	55.9%	52.5%	+3.4%	
D/E比率	0.59	0.71	-0.11	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*2</sup>	0.51	0.60	-0.09	
DOE <sup>*3</sup>	2.8%	2.2%	+0.6%	

\*2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

\*3 DOE = 一株当たり年間配当金(DPS) ÷ 一株当たり株主資本 (期首期末平均)

## 24.3期決算の対前年比較 - ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 24.3期 実績	B. 23.3期 実績	A-B	備考
品質向上投資	733	650	+83	
成長投資	1,662	1,722	-60	
国内エネルギー	327	536	-209	
海外エネルギー	838	762	+76	
ライフ&ビジネス ソリューション	495	422	+72	
設備投資	1,984	1,953	+30	
減価償却費	1,235	1,198	+37	

億円	A. 24.3期 実績	B. 23.3期 実績	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,126	335	+2,790	前年度の運転資本増加の反動、当期純利益の増加等
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,159	2,039	+120	
フリーキャッシュフロー <sup>*1</sup>	966	-1,703	+2,670	

\*1 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

## 24.3期決算の対前年比較 - ④件数、販売量等

	A. 24.3期 期末実績	B. 23.3期 期末実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,384	10,021	+363	+3.6%	
ガス <sup>*1</sup>	5,332	5,293	+39	+0.7%	
電力 <sup>*2</sup>	2,283	2,055	+228	+11.1%	
その他	2,768	2,673	+95	+3.6%	

\*1 ガス供給件数および持分法適用会社の供給件数の合計（ワンタッチ卸先の供給件数を除く）

\*2 低圧電気供給件数と持分法適用会社の供給件数などの合計

	A. 24.3期 実績	B. 23.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m <sup>3</sup> ) <sup>*3,4</sup>	6,646	6,845	-199	-2.9%	
家庭用	1,721	1,697	+24	+1.4%	
業務用等	4,925	5,148	-223	-4.3%	
ガス供給件数(千件)	5,048	5,004	+44	+0.9%	
国内電力販売量(百万kWh) <sup>*4</sup>	15,308	15,883	-576	-3.6%	
小売	6,858	6,390	+468	+7.3%	
卸等	8,450	9,493	-1,043	-11.0%	
低圧電気供給件数(千件)	1,835	1,707	+127	+7.5%	

	A. 24.3期 実績	B. 23.3期 実績	A-B	備考
平均気温(°C)	17.9	17.8	+0.0	

\*3 45MJ/m<sup>3</sup>

\*4 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日までが生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております



## 24.3期決算の対前年比較 - ⑤セグメント別

億円	A. 24.3期 実績	B. 23.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	20,830	22,751	-1,920	-8.4%	
国内エネルギー	17,706	19,716	-2,010	-10.2%	ガス販売単価低下 等
海外エネルギー	1,164	1,232	-68	-5.6%	
ライフ&ビジネス ソリューション	2,740	2,585	+154	+6.0%	
調整	-780	-784	+3	-	

セグメント利益 <sup>*1</sup>	2,045	729	+1,316	+180.5%	
国内エネルギー	922	-273	+1,195	-	LNG調達等に伴う費用減 等
内、電力	314	113	+200	+176.6%	タイムラグ差損益 等
海外エネルギー	796	697	+99	+14.2%	
ライフ&ビジネス ソリューション	310	292	+18	+6.2%	都市開発事業の増益 等
調整	15	13	+2	+22.0%	

タイムラグ差損益 <sup>*2</sup>	285	-347	+632	-	
(個別)ガス事業	146	-164	+310	-	
(個別)電力事業	139	-183	+322	-	
ヘッジ会計適用外の デリバティブ時価評価影響 <sup>*3</sup>	23	48	-25	-52.4%	

\*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

\*2 国内エネルギーの内数

\*3 海外エネルギーの内数

## Ⅲ. 24.3期決算の対1月30日公表見通し比較

## 24.3期決算の対1月30日公表見通し比較- ①売上高、利益等

億円	A. 24.3期 実績	B. 24.3期 1/30見通し	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	20,830	21,210	-379	-1.8%	
営業利益	1,725	1,395	+330	+23.7%	ガス事業粗利増 等
経常利益	2,265	1,700	+565	+33.3%	ガス事業粗利増 等
タイムラグ差損益 <sup>*1</sup>	285	290	-4	-1.6%	
(個別)ガス事業	146	180	-33	-18.9%	
(個別)電力事業	139	110	+29	+26.5%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,326	1,160	+166	+14.4%	ガス事業粗利増 等
一株当たり当期純利益(円)	320.6	280.0	+40.6	+14.5%	
EBITDA <sup>*2</sup>	3,281	2,835	+446	+15.7%	ガス事業粗利増 等
NOPAT <sup>*3</sup>	1,688	1,327	+361	+27.2%	ガス事業粗利増 等

\*1 国内エネルギーの内数

\*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (のれん償却費含む) + 持分法投資損益

\*3 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 24.3期 実績	B. 24.3期 1/30見通し	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	86.0	83.6	+2.4	24.3期実績は3月速報値までの平均
為替(円/\$)	144.6	143.8	+0.8	

## 24.3期決算の対1月30日公表見通し比較- ②資産等

億円	A. 24.3期 実績	B. 24.3期 1/30見通し	A-B	備考
総資産	29,801	30,918	-1,116	
自己資本	15,775	15,221	+553	
一株当たり純資産(円)	3,857.5	3,694.8	+162.7	
株主資本	12,463	-	-	
有利子負債	9,382	9,926	-543	

	A. 24.3期 実績	B. 24.3期 1/30見通し	A-B	備考
ROIC <sup>*1</sup>	7.0%	5.5%	+1.5%	ガス事業粗利増 等
ROE	8.9%	8.0%	+1.0%	ガス事業粗利増 等

\*1 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本 (期首期末平均)

NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)

	A. 24.3期 実績	B. 24.3期 1/30見通し	A-B	備考
自己資本比率	52.9%	49.2%	+3.7%	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*2</sup>	55.9%	52.1%	+3.8%	
D/E比率	0.59	0.65	-0.06	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*2</sup>	0.51	0.56	-0.05	
DOE <sup>*3</sup>	2.8%	-	-	

\*2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

\*3 DOE = 一株当たり年間配当金(DPS) ÷ 一株当たり株主資本 (期首期末平均)

## 24.3期決算の対1月30日公表見通し比較- ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 24.3期 実績	B. 24.3期 1/30見通し	A-B	備考
品質向上投資	733	900	-166	
成長投資	1,662	1,600	+62	
国内エネルギー	327	455	-127	
海外エネルギー	838	740	+98	
ライフ&ビジネス ソリューション	495	405	+90	
設備投資	1,984	2,140	-155	
減価償却費	1,235	1,200	+35	

億円	A. 24.3期 実績	B. 24.3期 1/30見通し	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,126	2,905	+221	
投資活動によるキャッシュ・フロー <sup>*1</sup>	2,159	2,500	-340	
フリーキャッシュフロー <sup>*2</sup>	966	405	+561	

\*1 見通しは投資額を記載

\*2 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

## 24.3期決算の対1月30日公表見通し比較- ④件数、販売量等

	A. 24.3期 実績	B. 24.3期 1/30見通し	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,384	10,300	+84	+0.8%	

	A. 24.3期 実績	B. 24.3期 1/30見通し	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m <sup>3</sup> )* <sup>1,2</sup>	6,646	6,678	-32	-0.5%	
家庭用	1,721	1,693	+28	+1.6%	
業務用等	4,925	4,985	-59	-1.2%	
国内電力販売量(百万kWh)* <sup>2</sup>	15,308	15,620	-313	-2.0%	

	A. 24.3期 実績	B. 24.3期 1/30見通し	A-B	備考
平均気温(℃)	17.9	17.8	+0.1	

\*1 45MJ/m<sup>3</sup>

\*2 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日までに生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

## 24.3期決算の対1月30日公表見通し比較- ⑤セグメント別

億円	A. 24.3期 実績	B. 24.3期 1/30見通し	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	20,830	21,210	-379	-1.8%	
国内エネルギー	17,706	17,925	-218	-1.2%	
海外エネルギー	1,164	1,240	-75	-6.1%	
ライフ&ビジネス ソリューション	2,740	2,775	-34	-1.3%	
調整	-780	-730	-50	-	

セグメント利益 <sup>*1</sup>	2,045	1,635	+410	+25.1%	
国内エネルギー	922	650	+272	+41.9%	ガス事業粗利増 等
内、電力	314	300	+14	+4.8%	
海外エネルギー	796	720	+76	+10.6%	
ライフ&ビジネス ソリューション	310	275	+35	+12.9%	情報ソリューション事業の増益 等
調整	15	-10	+25	-	

タイムラグ差損益 <sup>*2</sup>	285	290	-4	-1.6%	
(個別)ガス事業	146	180	-33	-18.9%	
(個別)電力事業	139	110	+29	+26.5%	

\*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

\*2 国内エネルギーの内数

## IV. 25.3期見通しの対前年比較



## 25.3期見通しの対前年比較- ①売上高・利益等

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	19,860	20,830	-970	-4.7%	ガス販売単価低下 等
営業利益	1,235	1,725	-490	-28.4%	タイムラグ差損益 等
経常利益	1,530	2,265	-735	-32.5%	タイムラグ差損益 等
タイムラグ差損益 <sup>*1</sup>	120	285	-165	-57.9%	
(個別)ガス事業	110	146	-36	-24.7%	
(個別)電力事業	10	139	-129	-92.8%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,120	1,326	-206	-15.6%	タイムラグ差損益 等
一株当たり当期純利益(円) <sup>*2</sup>	273.9	320.6	-46.7	-14.6%	
EBITDA <sup>*3</sup>	2,780	3,281	-501	-15.3%	タイムラグ差損益 等
NOPAT <sup>*4</sup>	1,222	1,688	-466	-27.6%	タイムラグ差損益 等

\*1 国内エネルギーの内数

\*2 25.3期見通しの「配当性向」、「一株当たり当期純利益」及び「一株当たり純資産」の計算には、  
25.3期上期に予定している自己株式取得分の影響は含んでおりません。

\*3 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (のれん償却費含む) + 持分法投資損益

\*4 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	75.0	86.0	-11.0	25.3前提：75\$/bbl
為替(円/\$)	145.0	144.6	+0.4	25.3前提：145円/\$

## 25.3期見通しの対前年比較- ②資産等

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 期末実績	A-B	備考
総資産	31,515	29,801	+1,713	
自己資本	16,310	15,775	+534	
一株当たり純資産(円) <sup>*1</sup>	3,988.3	3,857.5	+130.8	
株主資本	12,985	12,463	+521	
有利子負債	10,780	9,382	+1,397	

\*1 25.3期見通しの「配当性向」、「一株当たり当期純利益」及び「一株当たり純資産」の計算には、25.3期上期に予定している自己株式取得分の影響は含んでおりません。

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
ROIC <sup>*2</sup>	4.7%	7.0%	-2.2%	タイムラグ差損益 等
ROE	7.0%	8.9%	-2.0%	タイムラグ差損益 等

\*2 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本 (期首期末平均)

NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 期末実績	A-B	備考
自己資本比率	51.8%	52.9%	-1.2%	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*3</sup>	54.5%	55.9%	-1.3%	
D/E比率	0.66	0.59	+0.07	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*3</sup>	0.58	0.51	+0.07	
DOE <sup>*4</sup>	3.1%	2.8%	0.2%	

\*3 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

\*4 DOE = 一株当たり年間配当金(DPS) ÷ 一株当たり株主資本 (期首期末平均)

## 25.3期見通しの対前年比較- ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
品質向上投資	940	733	+206	
成長投資	2,060	1,662	+397	
国内エネルギー	470	327	+142	
海外エネルギー	1,080	838	+241	
ライフ&ビジネス ソリューション	510	495	+14	
設備投資	2,480	1,984	+495	
減価償却費	1,240	1,235	+4	

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,430	3,126	-696	
投資活動によるキャッシュ・フロー <sup>*1</sup>	3,000	2,159	+840	
フリーキャッシュフロー <sup>*2</sup>	-570	966	-1,536	

\*1 見通しは投資額を記載

\*2 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

## 25.3期見通しの対前年比較- ④件数、販売量等

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 期末実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,530	10,384	+146	+1.4%	

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m <sup>3</sup> )* <sup>1,2</sup>	6,659	6,646	+13	+0.2%	
家庭用	1,707	1,721	-14	-0.8%	
業務用等	4,952	4,925	+27	+0.6%	
国内電力販売量(百万kWh)* <sup>2</sup>	15,964	15,308	+656	+4.3%	

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
平均気温(℃)	17.4	17.9	-0.5	

\*1 45MJ/m<sup>3</sup>

\*2 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日まで生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

## 25.3期見通しの対前年比較- ⑤セグメント別

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	19,860	20,830	-970	-4.7%	
国内エネルギー	16,400	17,706	-1,306	-7.4%	ガス販売単価低下 等
海外エネルギー	1,250	1,164	+85	+7.3%	米国での上流事業の増収 等
ライフ&ビジネス ソリューション	2,860	2,740	+119	+4.4%	
調整	-650	-780	+130	-	

セグメント利益 <sup>*1</sup>	1,540	2,045	-505	-24.7%	
国内エネルギー	525	922	-397	-43.1%	タイムラグ差損益 等
内、電力	200	314	-114	-36.4%	タイムラグ差損益 等
海外エネルギー	725	796	-71	-9.0%	
ライフ&ビジネス ソリューション	300	310	-10	-3.3%	
調整	-10	15	-25	-	

タイムラグ差損益 <sup>*2</sup>	120	285	-165	-57.9%	
(個別)ガス事業	110	146	-36	-24.7%	
(個別)電力事業	10	139	-129	-92.8%	

\*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

\*2 国内エネルギーの内数

## V. 補足情報

## 通期見通しに対する主な収支変動要因

### 気温・水温影響

	変動幅	家庭用ガス販売量への影響
気水温	+1℃	-7%

### 油価・為替影響

4月以降の下記前提に対して  
変化が生じた際の影響額

#### <前提>

- 原油価格 75 \$/bbl
- 為替レート 145円/\$

	変動幅	セグメント	収支影響	経常利益への 影響額
原油 価格	+ 1\$/bbl	海外エネルギー	増益	-6.5億円
		国内エネルギー	減益	
為替 レート	+ 1円/\$	海外エネルギー	増益	+0.1億円
		国内エネルギー	減益	

